

「第3次加美町地域福祉活動計画策定」のための

地域福祉に関するアンケート調査

集 計 表

調査概要

1. 調査の目的

加美町社会福祉協議会では、誰もが住みなれた地域で、安心して生活できる町づくりを目指し、「第3次加美町地域福祉活動計画」の策定を予定しています。

本調査は、この計画の基礎資料として、町民が地域で暮らしていく上での課題や地域での福祉活動に関する意識や要望・意見などを把握するために実施したものです。

* 地域福祉活動計画について

地域福祉活動計画とは、社会福祉協議会が呼びかけて、地域住民、当事者団体、ボランティア、NPO法人等が相互協力して策定する地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画です。

その内容は、福祉ニーズが現れる地域社会において、福祉課題の解決をめざして、住民や民間団体の行う諸々の解決活動と必要な資源の造成、配分活動などを、組織だてて行うことを目的として体系的かつ年度ごとにとりまとめた取り決めです。

2. 調査内容

- (1) 回答者について
- (2) 日常生活の課題について
- (3) 隣近所との関わりについて
- (4) ボランティア活動について
- (5) 新型コロナウイルス感染症について
- (6) 加美町社会福祉協議会の活動について
- (7) その他

3. 調査対象

① 対象者: 町内 1,000世帯

(本会会員台帳を基に1,000世帯を標本抽出)

中新田地区	550世帯
小野田地区	250世帯
宮崎地区	200世帯

4. 配布・回収の方法

① 配布方法: 郵送による配布

② 回収方法: 本部及び各地区福祉サービスセンターに直接持参又は郵送による回収

③ 実施時期: 令和3年11月10日～令和4年1月31日

5. 回収結果

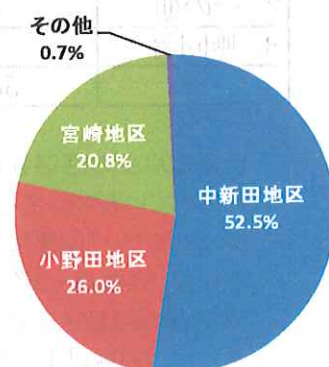
① 回収数: 562人

② 回収率: 56.2%

地区別回収数

	配布数	回収数	回収率	地区割合
中新田地区	550	295	53.6%	52.5%
小野田地区	250	146	58.4%	26.0%
宮崎地区	200	117	58.5%	20.8%
地区回答なし	0	4	—	0.7%
計	1,000	562	56.2%	100.0%

回収数に占める地区の割合

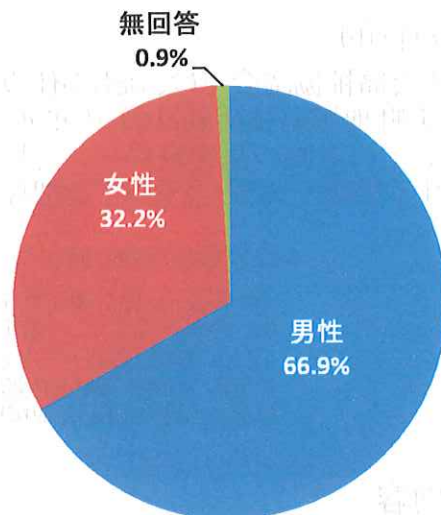


調査結果のグラフ等の%については、小数点以下四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。

(1)回答者について

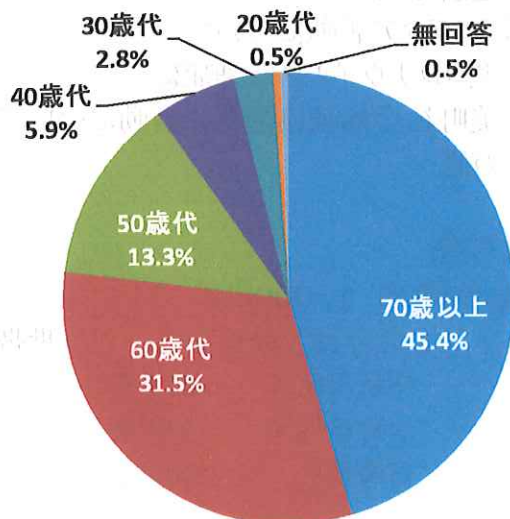
問1 あなたの性別はどちらですか。(どちらかに○)

選択肢	回答数	割合
1. 男性	376	66.9%
2. 女性	181	32.2%
3. 無回答	5	0.9%
計	562	100.0%



問2 あなたの年齢はおいくつですか。(ひとつだけ○)

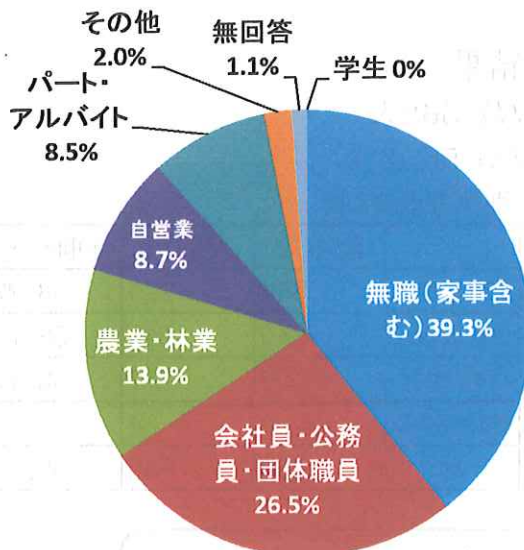
選択肢	回答数	割合
1. 20歳代	3	0.5%
2. 30歳代	16	2.8%
3. 40歳代	33	5.9%
4. 50歳代	75	13.3%
5. 60歳代	177	31.5%
6. 70歳代	255	45.4%
7. 無回答	3	0.5%
計	562	100.0%



*70歳以上、60歳代が多く、60歳以上の回答者で全体の7割を占めていることになります。

問3 あなたの主な職業は何ですか。(ひとつだけ○)

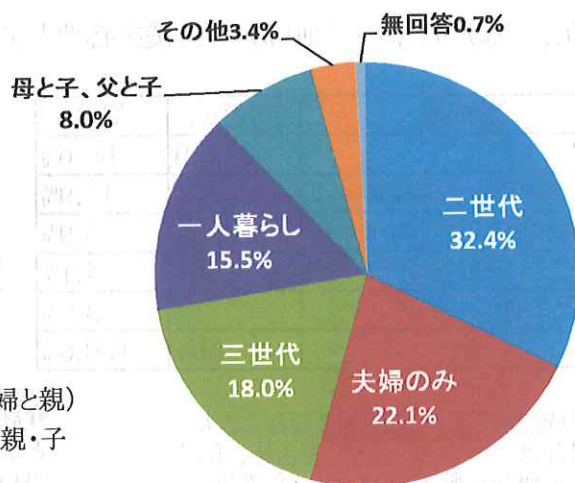
選択肢	回答数	割合
1. 自営業	49	8.7%
2. 会社員・公務員・団体職員	149	26.5%
3. 農業・林業	78	13.9%
4. パート・アルバイト	48	8.5%
5. 学生	0	0.0%
6. 無職(家事含む)	221	39.3%
7. その他	11	2.0%
8. 無回答	6	1.1%
計	562	100.0%



*60歳以上の回答者が全体の7割を占めていることから、家事を含む無職が39.3%という結果になっています。
次いで、会社員・公務員・団体職員、農業・林業と続きます。
更には、60歳以上の約半数が何らかの就労をしているともよみとれます。

問4 あなたは現在、どのような家族構成で暮らしていますか。(ひとつだけ○)

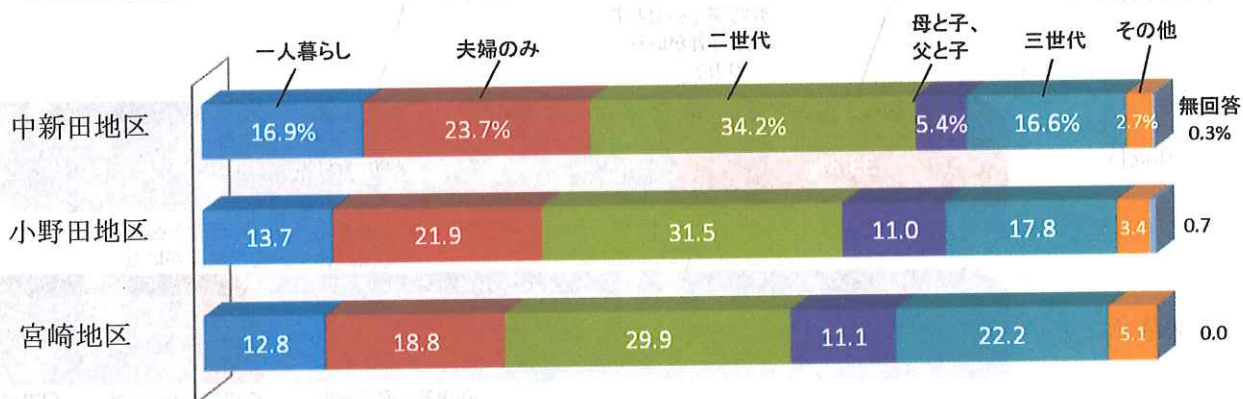
選択肢	回答数	割合
1. 一人暮らし	87	15.5%
2. 夫婦のみ	124	22.1%
3. 二世帯	182	32.4%
4. 母と子、父と子	45	8.0%
5. 三世帯	101	18.0%
6. その他	19	3.4%
7. 無回答	4	0.7%
計	562	100.0%



*全体では、二世帯(夫婦と子、又は夫婦と親)が最も多く、次いで、夫婦のみ、三世帯(親・子・孫)の順になっています。

地区別割合

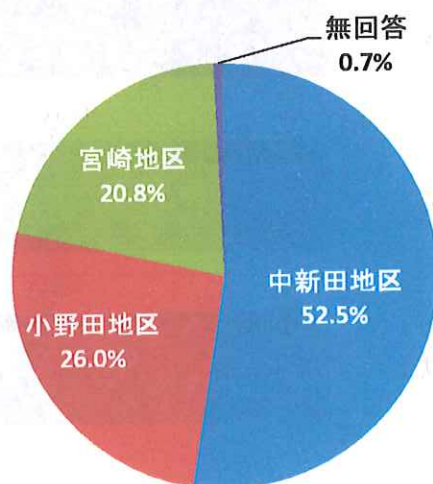
選択肢	1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ	3. 二世帯	4. 母と子、父と子	5. 三世帯	6. その他	7. 無回答	計
中新田地区	16.9%	23.7%	34.2%	5.4%	16.6%	2.7%	0.3%	100.0%
小野田地区	13.7%	21.9%	31.5%	11.0%	17.8%	3.4%	0.7%	100.0%
宮崎地区	12.8%	18.8%	29.9%	11.1%	22.2%	5.1%	0.0%	100.0%



*3地区とも、二世帯が最も多くなっていますが、中新田地区では、三世帯の割合が他地区より低く、夫婦のみや一人暮らしが三世帯より多くなっています。

問5 あなたが住んでいる地区は次のどれですか。(ひとつだけ○)

選択肢	回答数	割合
1. 中新田地区	295	52.5%
2. 小野田地区	146	26.0%
3. 宮崎地区	117	20.8%
4. 無回答	4	0.7%
計	562	100.0%



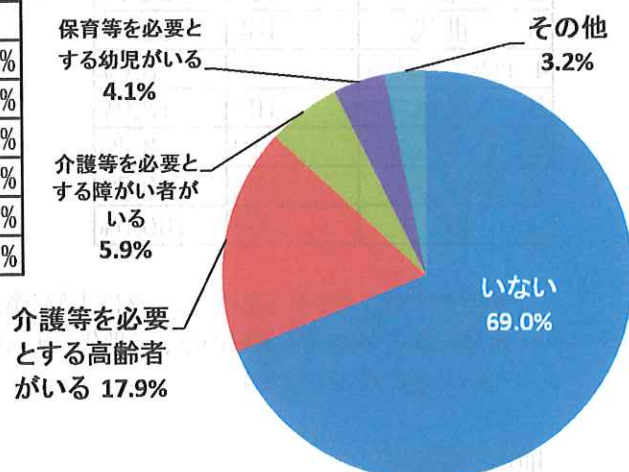
(2) 日常生活の課題について

問6 現在、あなたの家族に何らかの支援を必要とする人がいますか。

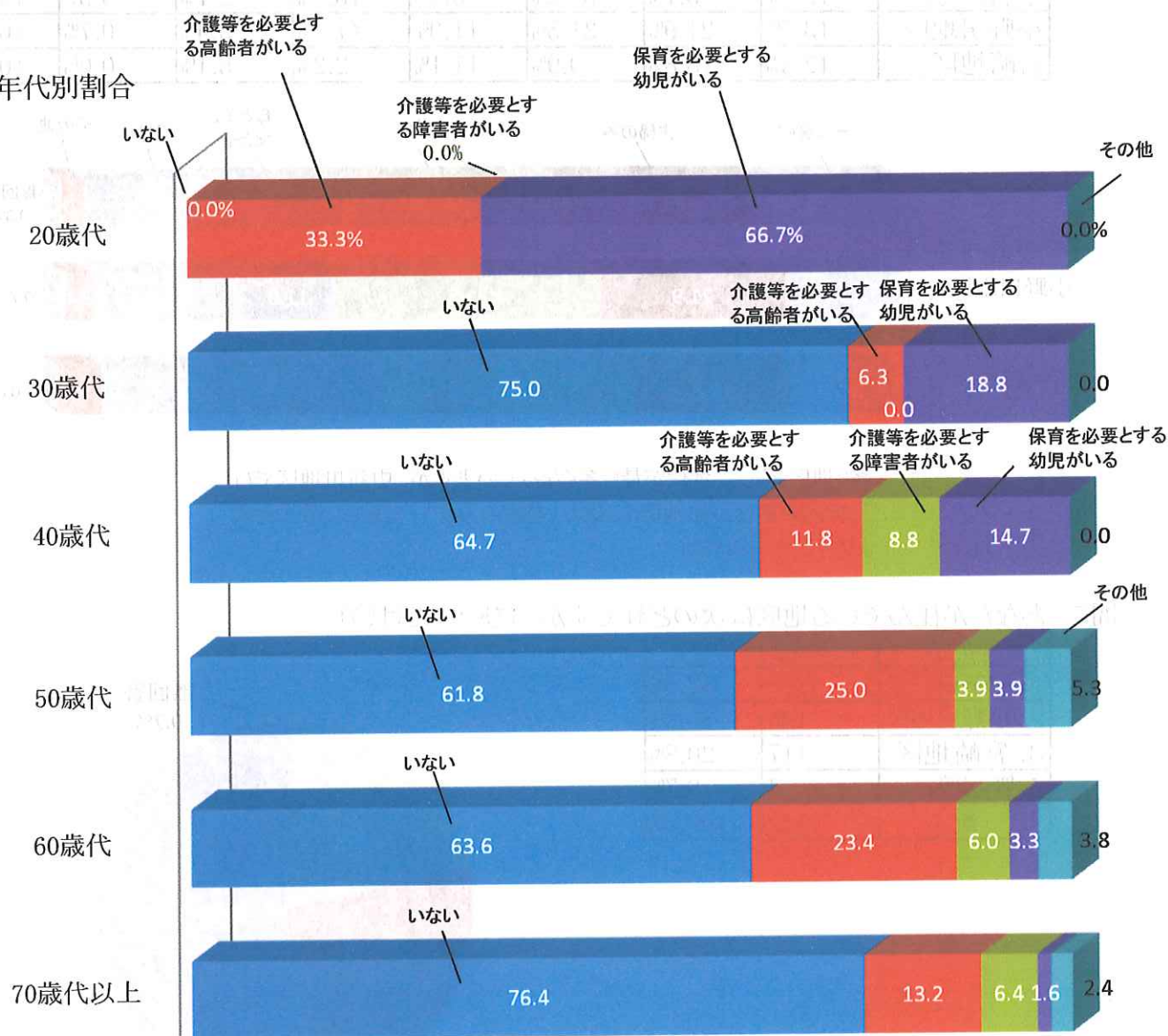
(あてはまるものすべてに○)

選択肢	回答数	割合
1. いない	389	69.0%
2. 介護等を必要とする高齢者がいる	101	17.9%
3. 介護等を必要とする障がい者がいる	33	5.9%
4. 保育を必要とする幼児がいる	23	4.1%
5. その他	18	3.2%
計	564	100.0%

*家族に何らかの支援を必要とする人の割合は、いないが69.0%を占め、介護等が必要な高齢者は17.9%、介護等が必要な障害者が5.9%、幼児は4.1%となっています。



年代別割合



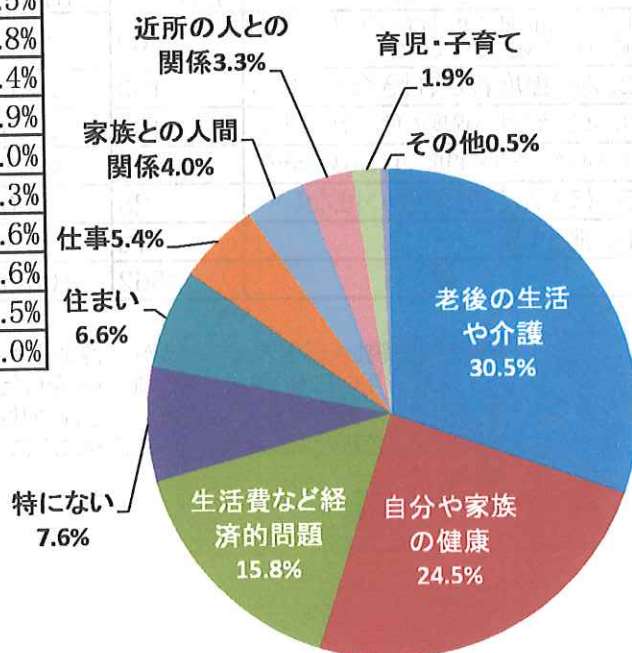
*20代から40代までは保育を必要とする幼児の割合が高く、40代以上では介護等を必要とする高齢者や障害者がいる割合が高くなっています。

問7 あなたは、日常生活のなかで日頃不安に思っていることはありますか。

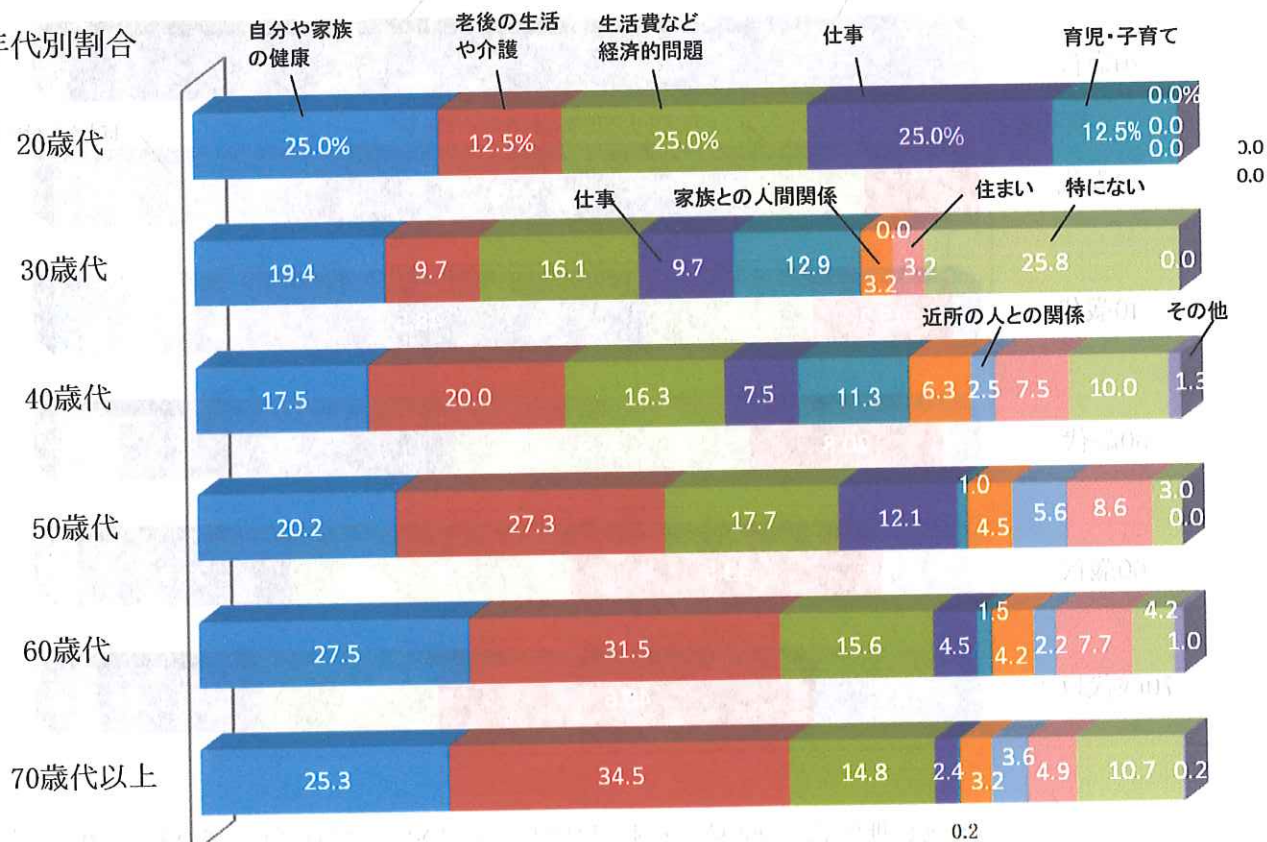
(あてはまるものすべてに○)

選択肢	回答数	割合
1. 自分や家族の健康	291	24.5%
2. 老後の生活や介護	362	30.5%
3. 生活費など経済的問題	187	15.8%
4. 仕事	64	5.4%
5. 育児・子育て	23	1.9%
6. 家族との人間関係	47	4.0%
7. 近所の人との関係	39	3.3%
8. 住まい	78	6.6%
9. 特にない	90	7.6%
10. その他	6	0.5%
計	1,187	100.0%

* 老後の生活や介護、自分や家族の健康などの割合が高くなっています。生活費など経済的問題も高くなっています。また、特にないも7.6%あります。



年代別割合



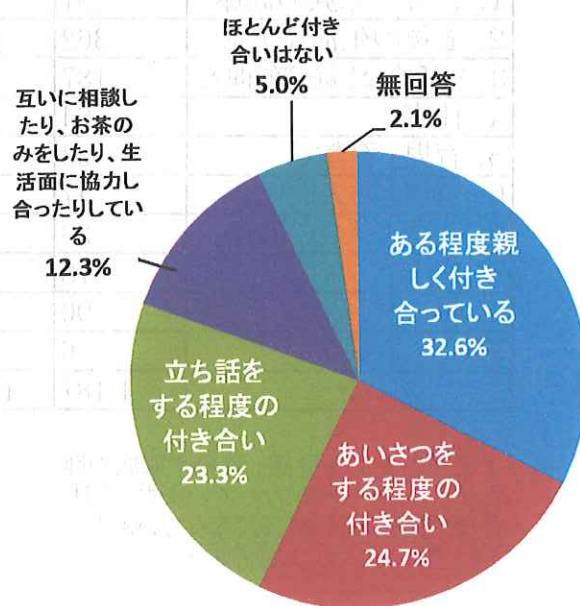
* 自分や家族の健康、老後の生活や介護に対する不安は全世代にあり、年代が上がるにつれて割合も高くなる傾向にあります。生活費など経済的問題も全世代で1割以上となっています。このうち割合が最も高いのは20代で25.0%、次いで多いのは50代で17.7%となります。育児・子育てに不安があるのは20代から40代でそれぞれ1割以上います。30代以上になると、家族との人間関係や住まいについて不安をもつようになり、40代以上になると近所との関係にも不安をもつ傾向があります。

(3) 隣近所との関わりについて

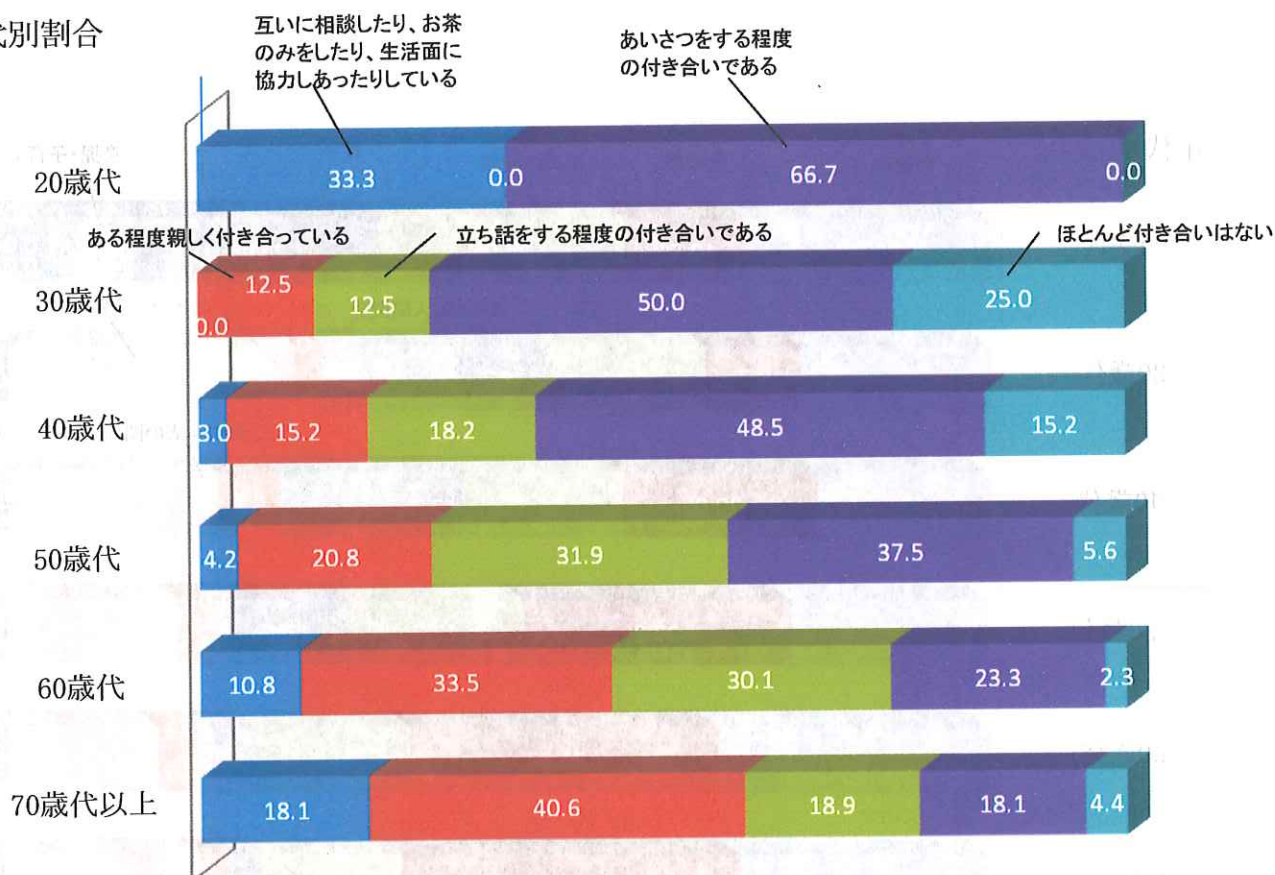
問8 あなたは、ふだん近所の人とどの程度お付き合いをしていますか。(ひとつだけ○)

選択肢	回答数	割合
1. 互いに相談したり、お茶のみしたり、生活面に協力しあったりしている	69	12.3%
2. ある程度親しく付き合っている	183	32.6%
3. 立ち話をする程度の付き合いである	131	23.3%
4. あいさつをする程度の付き合いである	139	24.7%
5. ほとんど付き合いはない	28	5.0%
6. 無回答	12	2.1%
計	562	100.0%

*ある程度親しく付き合っているが一番多くなっています。互いに相談したり、お茶のみをしたり、生活面に協力しあったりしているを合わせると50%がある程度親しく付き合っていることになります。



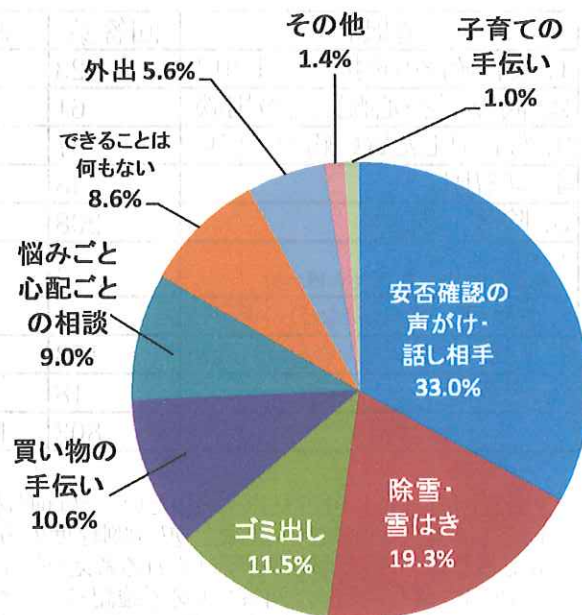
年代別割合



*若い世代では、あいさつをする程度の付き合いの割合が高くなっています。50代以上の世代では、ある程度親しく付き合っている、立ち話をする程度の付き合いであるが多くなっています。

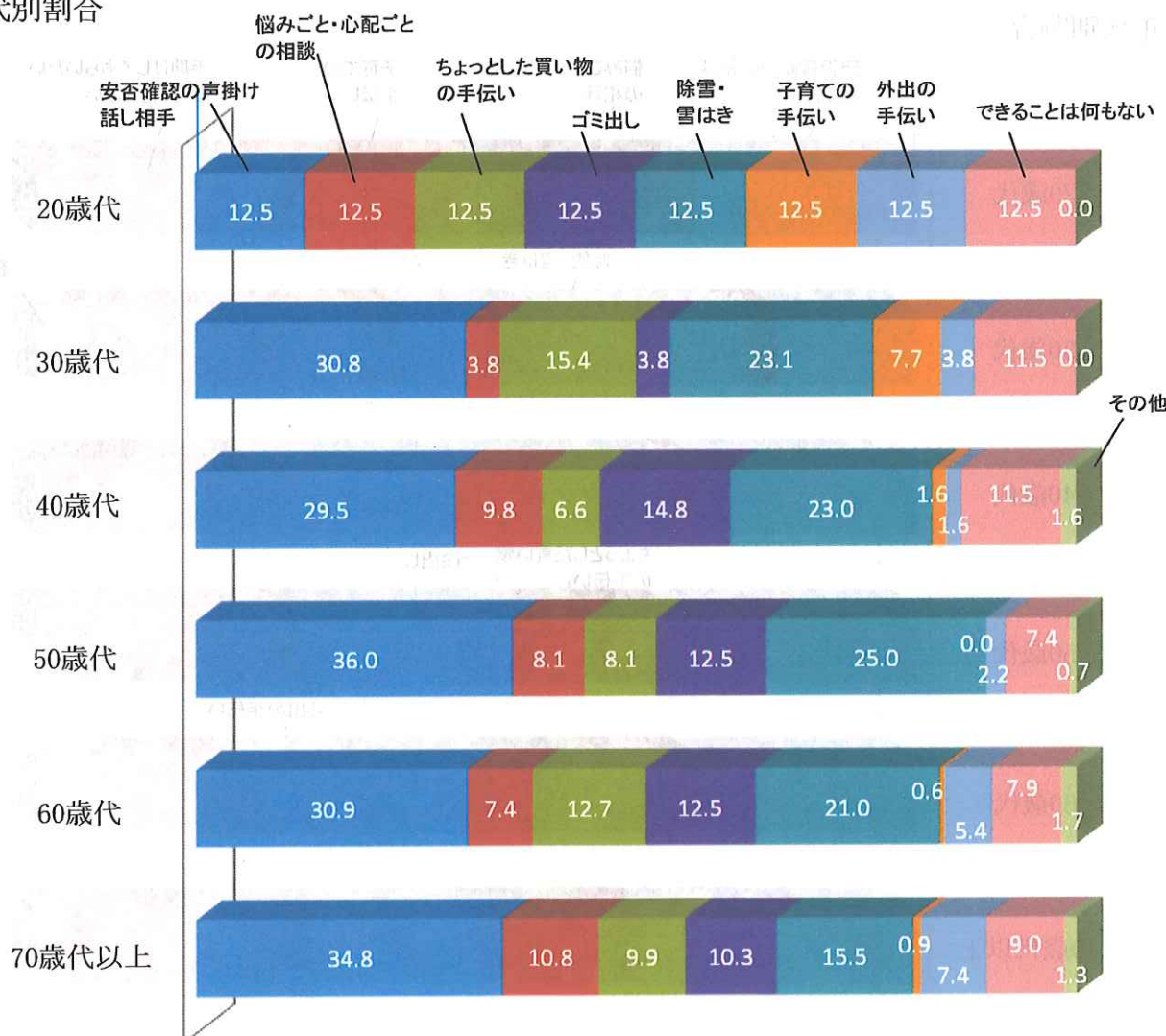
問9 隣近所で困っている世帯があった場合、あなたができることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

選択肢	回答数	割合
1. 安否確認の声掛け・話し相手	340	33.0%
2. 悩みごと・心配ごとの相談	93	9.0%
3. ちょっとした買い物の手伝い	109	10.6%
4. ゴミ出し	118	11.5%
5. 除雪・雪はき	199	19.3%
6. 子育ての手伝い (相談や短時間の子どもの預かり)	10	1.0%
7. 外出(買い物・通院など)の手伝い	58	5.6%
8. できることは何もない	89	8.6%
9. その他	14	1.4%
計	1,030	100.0%



*隣近所で困っている世帯があった場合、何かしらのお手伝いや相談、支援等を行えると回答した方が9割いました。できることとして最も多かった回答は「安否確認・声掛け・話し相手」で全体の3割程度でした。2番目に多かったのは「除雪・雪はき」で2割程度、次いで「ゴミ出し」「買い物の手伝い」「悩み事の相談」とそれぞれ1割前後となっています。

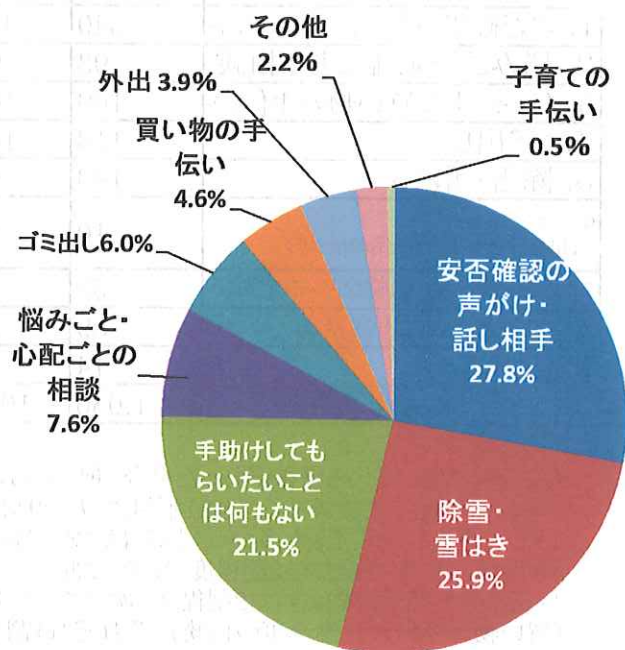
年代別割合



全世代を通じて何かしらのお手伝いや相談、支援等を行えるという回答が約9割ありました。30代以上の全世代で「安否確認の声掛け・話し相手ができる」と回答した方が約3割、30代から60代で「除雪・雪はきができる」と回答した方が約2割いました。

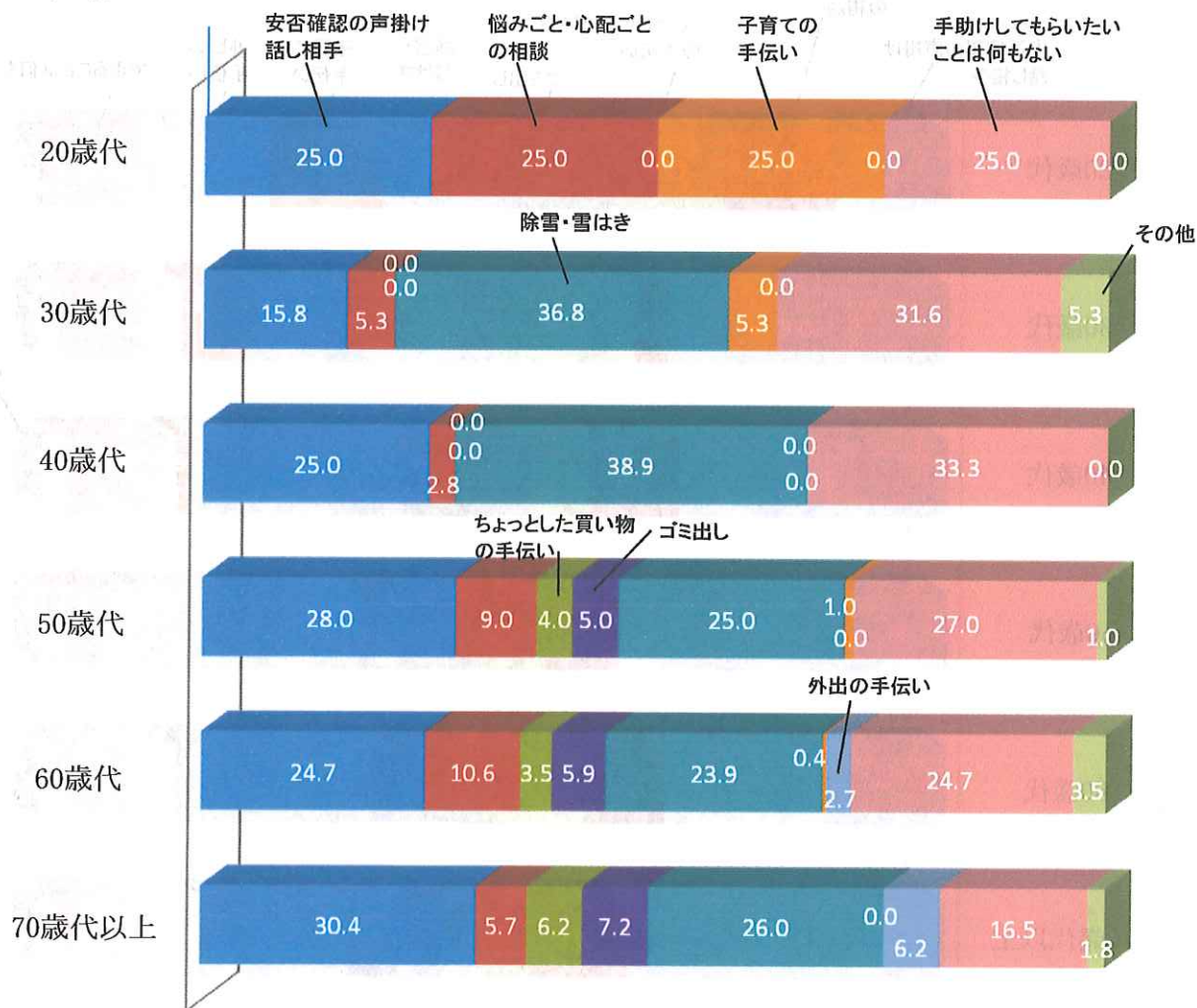
問10 隣近所の人に手助けしてもらおうとしたら、どんなことをして欲しいですか。
(あてはまるものすべてに○)

選択肢	回答数	割合
1. 安否確認の声掛け・話し相手	223	27.8%
2. 悩みごと・心配ごとの相談	61	7.6%
3. ちょっとした買い物の手伝い	37	4.6%
4. ゴミ出し	48	6.0%
5. 除雪・雪はき	208	25.9%
6. 子育ての手伝い (相談や短時間の子どもの預かり)	4	0.5%
7. 外出(買い物・通院など)の手伝い	31	3.9%
8. 手助けしてもらいたいことは何もない	173	21.5%
9. その他	18	2.2%
計	803	100.0%



*隣近所の人に「手助けしてもらいたいことは何もない」と回答した方が2割ほどいました。逆に8割程度の方が何かしらの隣近所の手助けを受け入れる考えをもっているようです。最も多かった回答は「安否確認・声掛け・話し相手」、2番目に多かったのは「除雪・雪はき」となります。

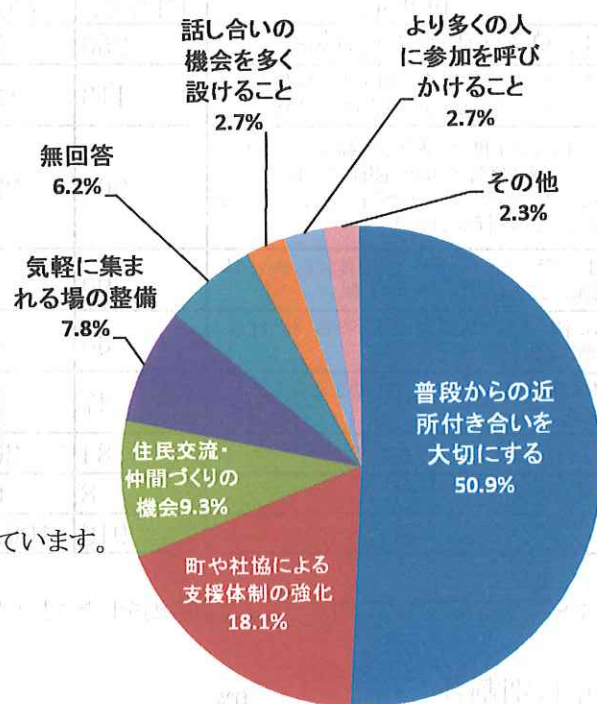
年代別割合



「安否確認の声掛け・話し相手」が欲しいと回答した方は各世代とも2～3割ほどいました。「悩みごと・相談ごとの相談」「子育ての手伝い」という回答の割合が最も高かったのは20代でした。「除雪・雪はき」と回答したのは30代以上の世代ですが、その中でも割合が高いのは高齢層ではなく、30代、40代という結果となりました。

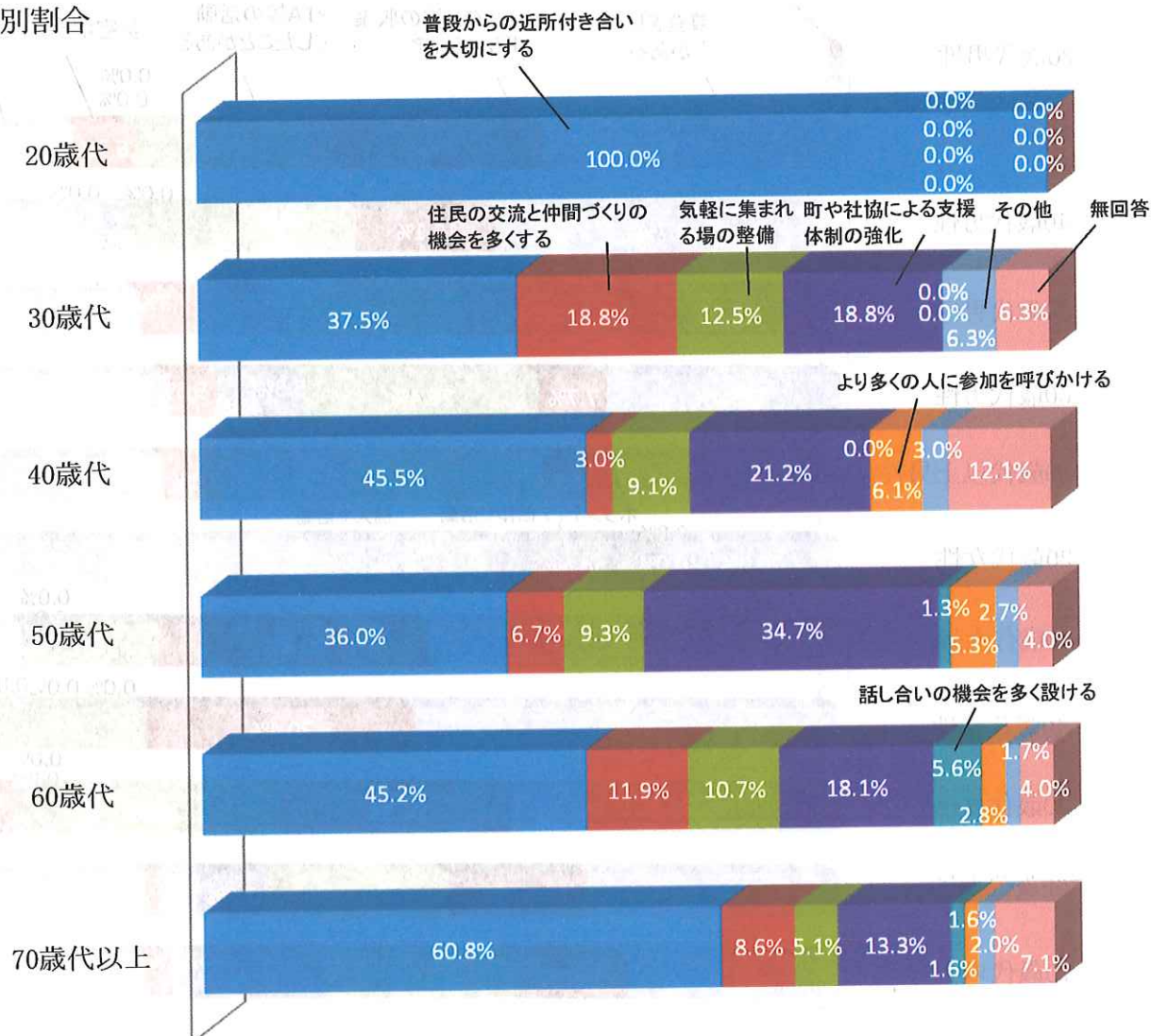
問11 地域での支えあい活動(高齢者、障害者、子育て世帯等の見守り・支え合い・助け合い)を充実していくためには、何が一番大切だとお考えですか。
(ひとつだけ○)

選択肢	回答数	割合
1. 普段からの近所付き合いを大切にすること	286	50.9%
2. 住民の交流と仲間づくりの機会を多くすること	52	9.3%
3. 気軽に集まれる場を整備すること	44	7.8%
4. 町や社会福祉協議会による支援体制を強化すること	102	18.1%
5. 話し合いの機会を多く設けること	15	2.7%
6. より多くの人に参加を呼びかけること	15	2.7%
7. その他	13	2.3%
8. 無回答	35	6.2%
計	562	100.0%



* 普段からの近所付き合いを大切にすることが一番多くなっています。

年代別割合

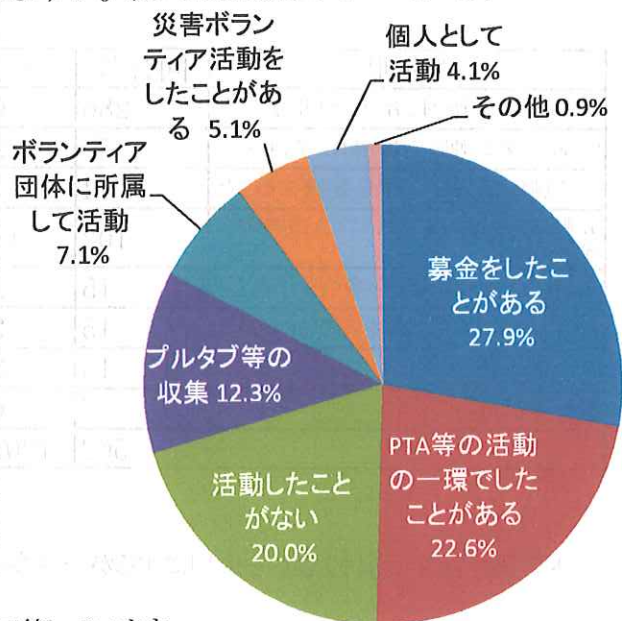


*どの世代でも、普段からの近所付き合いを大切にすることが、地域での支えあい活動を進めるために必要だと考えています。

(4) ボランティア活動について

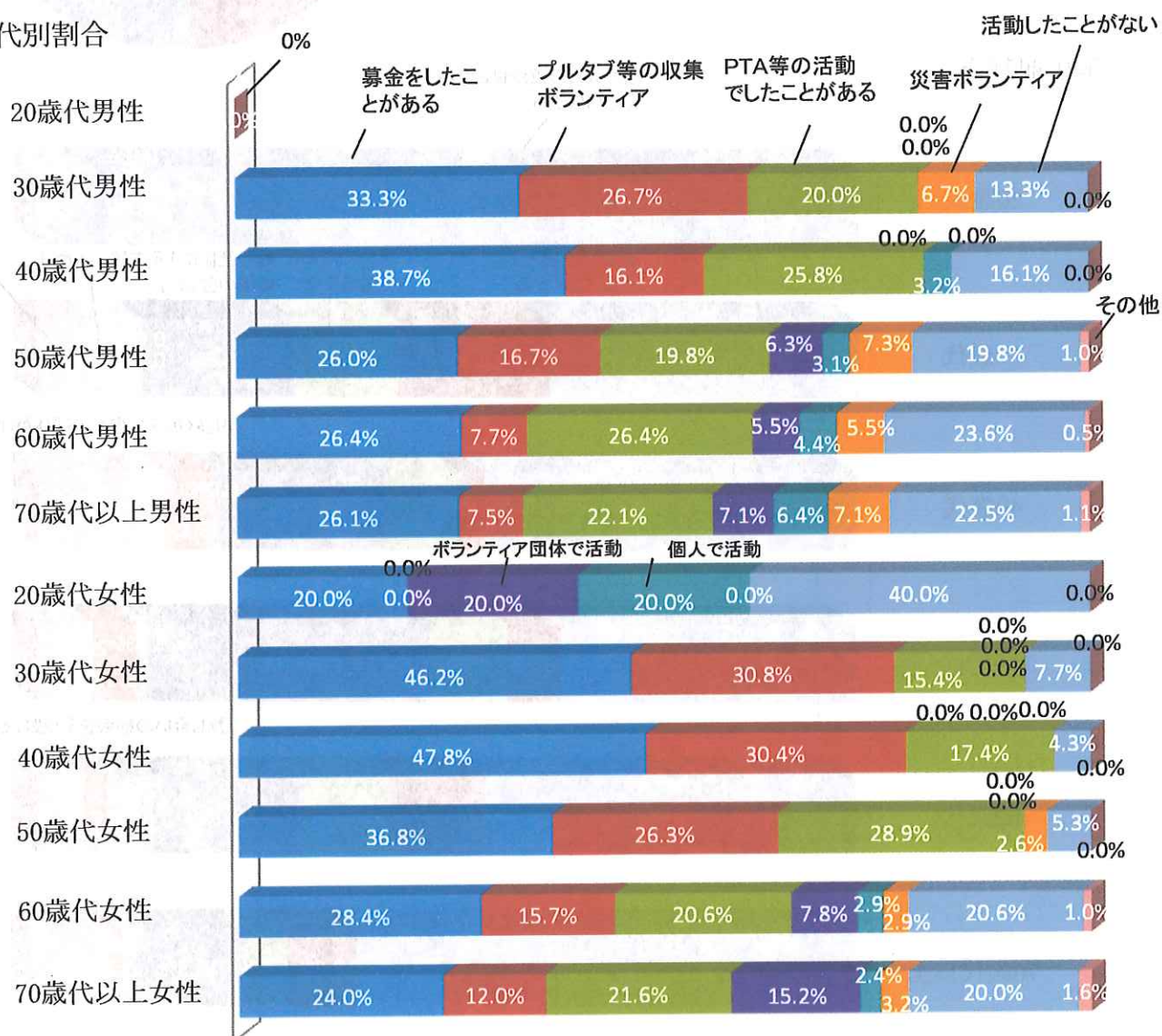
問12 これまでボランティア活動をしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

選択肢	回答数	割合
1. 募金をしたことがある	256	27.9%
2. プルタブ、使用済み切手等の収集ボランティアをしたことがある(またはしている)	113	12.3%
3. PTAや子供会、青年会、婦人会、老人クラブ、行政区等の組織、団体に所属し、その活動の一環としてボランティアを行ったことがある(または行っている)	208	22.6%
4. ボランティアグループ・団体に所属し、活動したことがある(または活動している)	65	7.1%
5. 個人として活動したことがある(または活動している)	38	4.1%
6. 災害ボランティア活動をしたことがある	47	5.1%
7. 活動したことがない	184	20.0%
8. その他	8	0.9%
計	919	100.0%



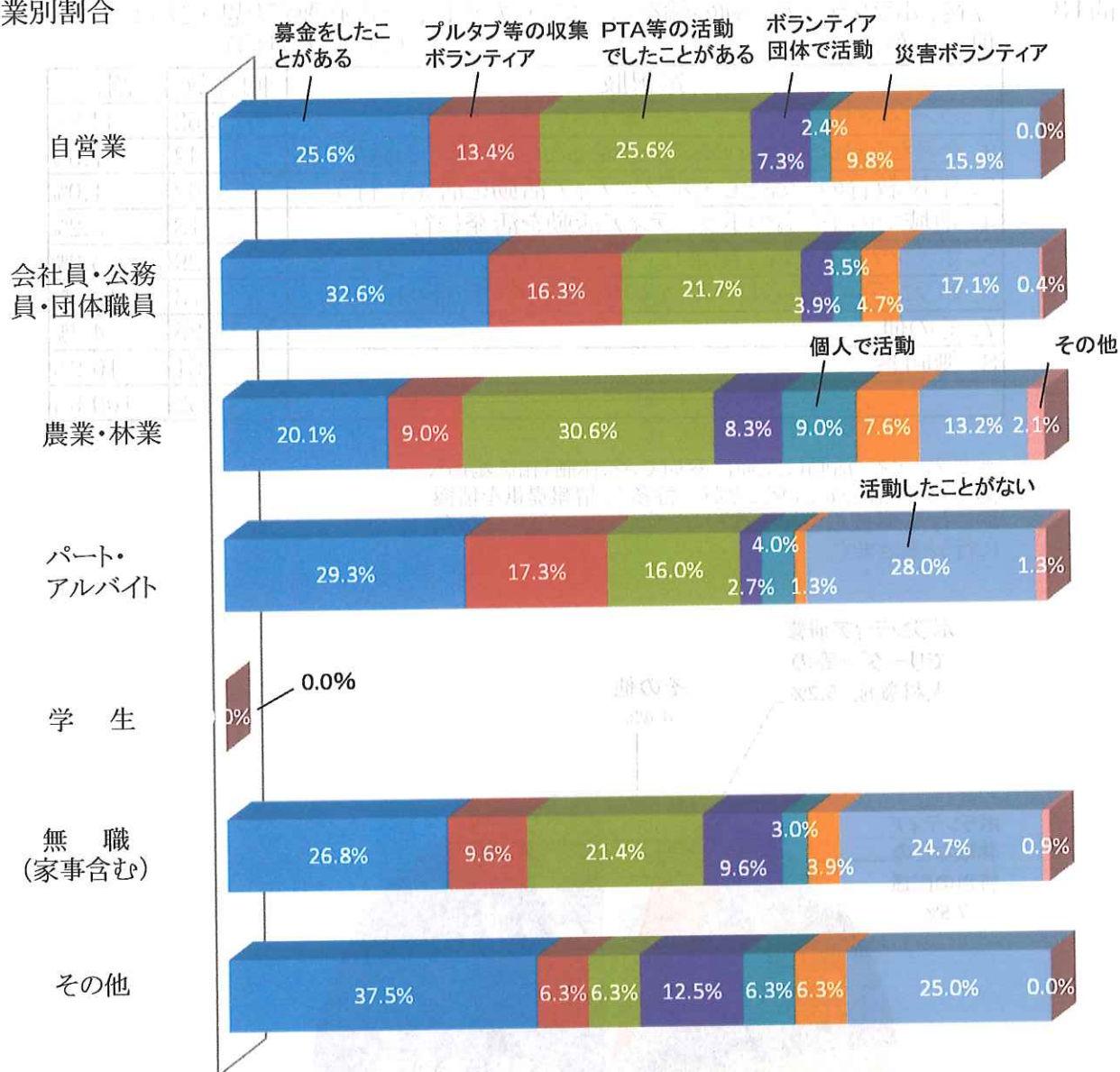
*8割の方が何かしらのボランティア活動をしたことがあると回答しています。

年代別割合

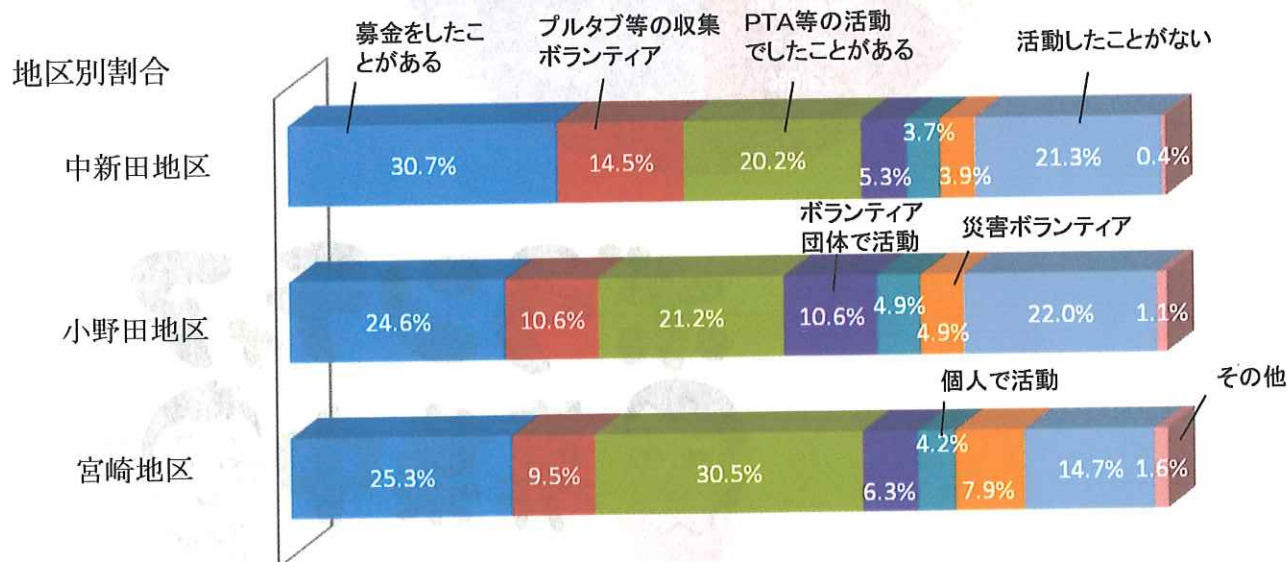


*20代の男性回答者がいないため0%となっています。災害ボランティア経験者は男性に多く、ボランティア団体等に所属して活動しているのは、20代女性を除けば男女とも比較的高年齢層が多くなっています。

(問12)
職業別割合



* 学生は回答者がいないため0%となっています。会社員やパートアルバイトは、募金や収集ボランティアの割合が高くなっています。自営業や農業・林業は、PTA等の活動やボランティア団体等に所属しての活動、災害ボランティアの割合が比較的高くなっています。また、8割以上の方が何らかの活動をしています。無職は、ボランティア団体等で活動している割合が最も高くなっています。パート・アルバイト、無職は、活動したことがない割合が高くなっています。



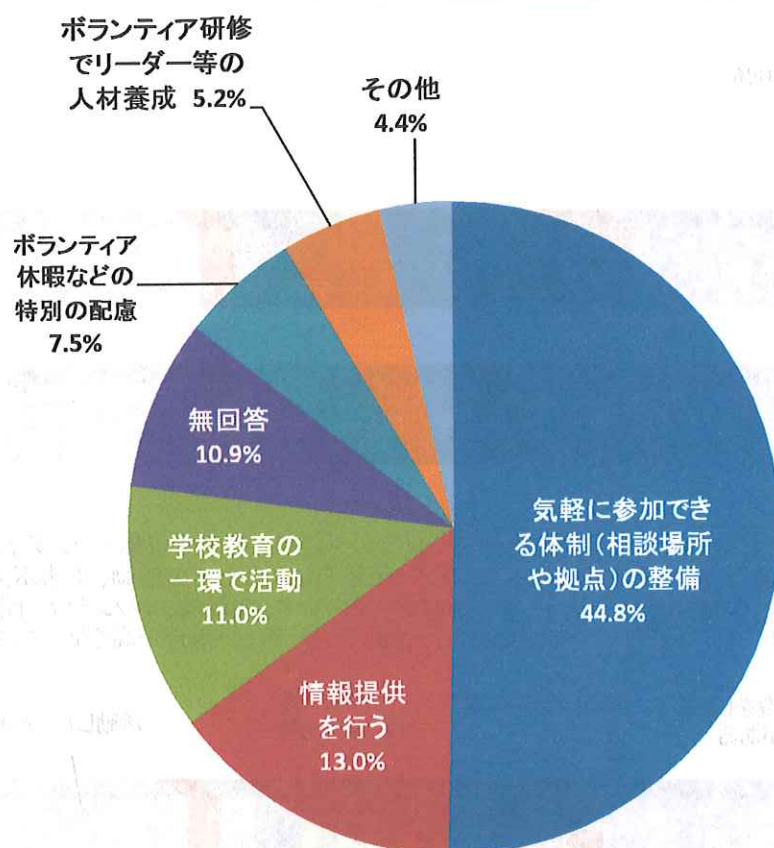
* 中新田地区では募金や収集ボランティアの割合が高く、小野田地区はボランティア団体等に所属しての活動、個人での活動の割合が高くなっています。宮崎地区の場合は、PTA等に所属しての活動、災害ボランティアの割合が最も高くなっています。

問13

今後、ボランティア活動の輪を広げていくために、一番必要だと思うことは何ですか。
(ひとつだけ○)

選択肢	回答数	割合
1. ボランティア活動に気軽に参加できる体制(相談場所や拠点)が整備されている	252	44.8%
2. 企業などがボランティア休暇を認めるなどの特別の配慮をする	42	7.5%
3. 学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う	62	11.0%
4. 地域での子どものボランティア活動を活発に行う	18	3.2%
5. ボランティア研修を開催し、リーダーなど人材を養成する	29	5.2%
6. ボランティア活動についての情報提供を積極的に行う	73	13.0%
7. その他	25	4.4%
8. 無回答	61	10.9%
計	562	100.0%

*ボランティア活動に気軽に参加できる体制(相談場所や拠点)が整備されていることが一番多く、情報提供を積極的に行う、学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行うと続きます。



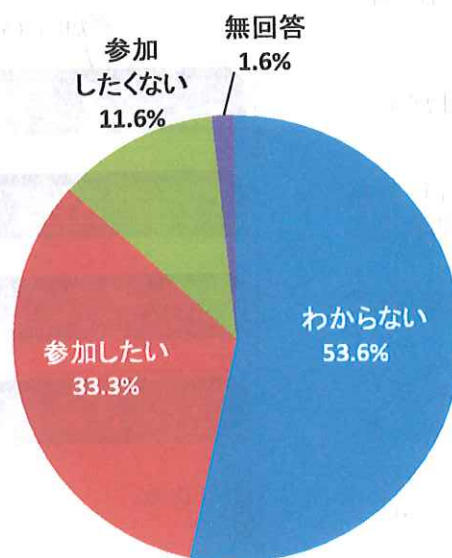
**ボランティア
募集中**



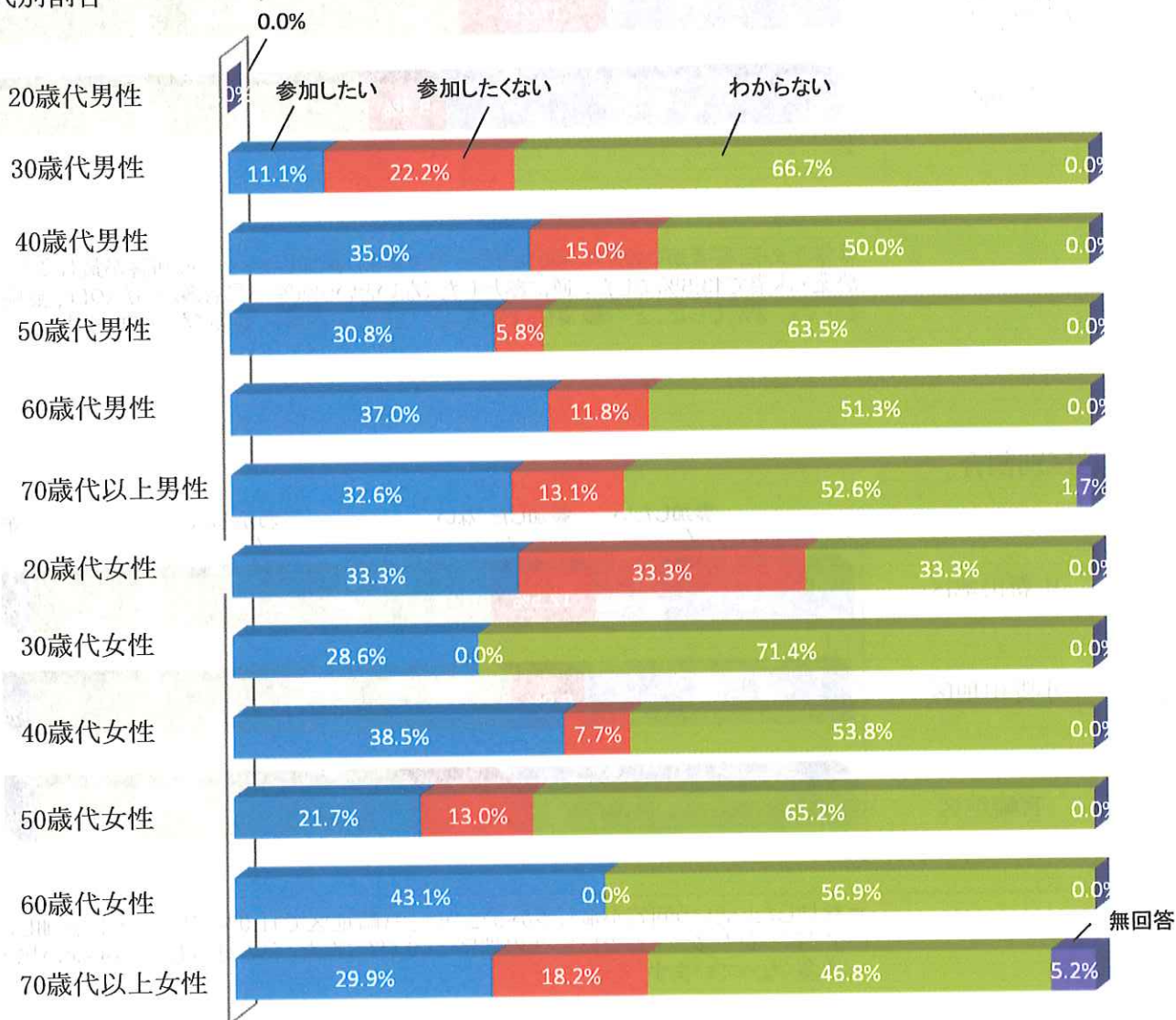
問14 あなたは今後ボランティア活動に参加したいと思いますか。
(ひとつだけ○)

選択肢	回答数	割合
1. 参加したい	187	33.3%
2. 参加したくない	65	11.6%
3. わからない	301	53.6%
4. 無回答	9	1.6%
計	562	100.0%

*わからないと回答した人が53.6%と一番多くなっている、半数を超えています。参加したいは33.3%、参加したくないも11.6%あります。

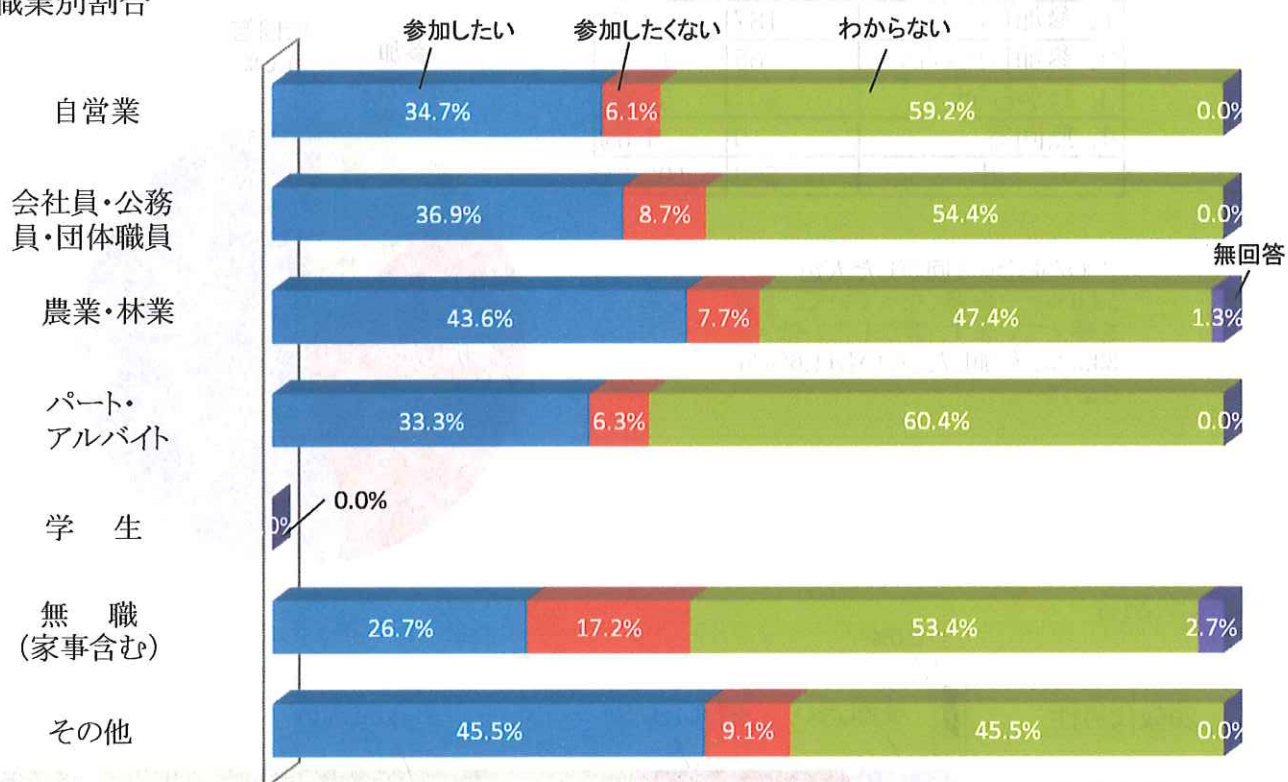


年代別割合



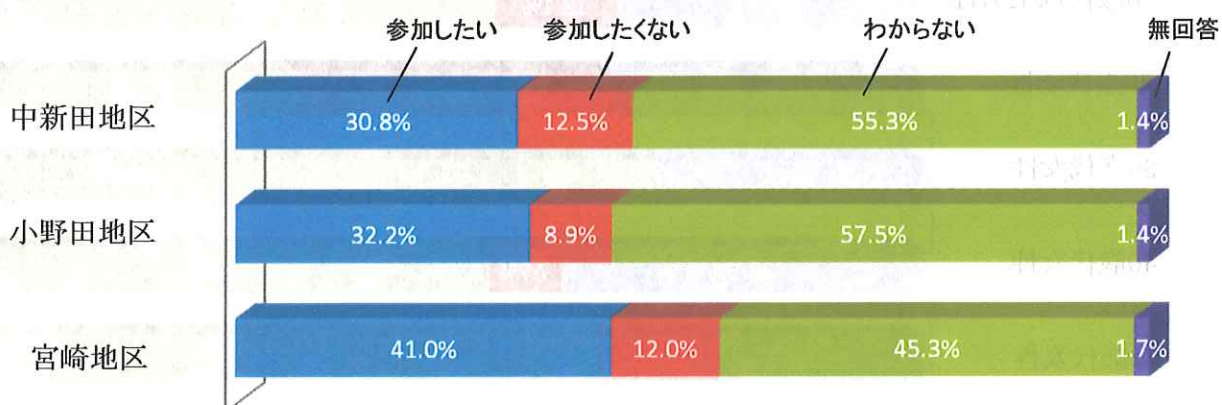
*20代の男性回答者がいないため0%となっています。参加したいという回答が最も多かったのは、男女とも60代で男性が37.0%、女性は43.1%となりました。逆に参加したくないという回答が最も多かったのは、男性は30代で22.2%、女性は20代で33.3%となりました。30代女性と60代女性では、参加しなと答えた人は一人もいませんでした。どの年代も、わからないという回答が一番多くなっています。

(問14)
職業別割合



* 学生の回答者がいないため0%となっています。参加したいという回答が最も多かったのは、農業・林業で43.6%でした。逆に参加したくないという回答が最も多かったのは、無職(家事含む)で17.2%でした。どの職業も、わからないという回答が一番多くなっています。

地区別割合



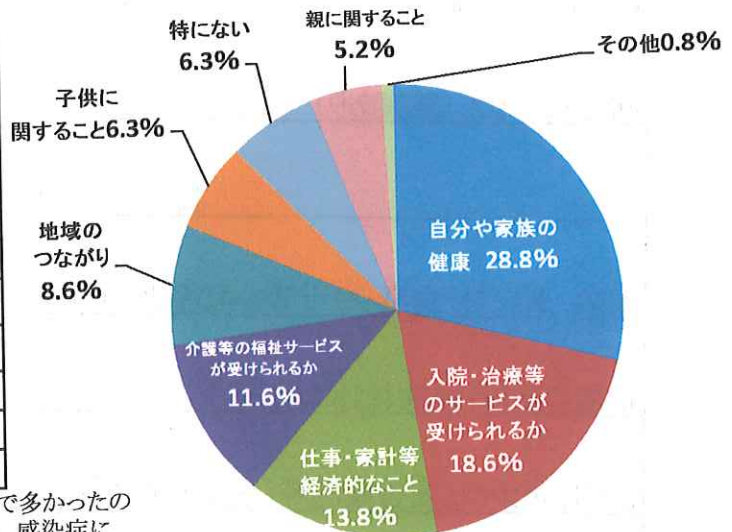
* 参加したいという回答が最も多かったのは、宮崎地区で41.0%でした。逆に参加したくないという回答が最も多かったのは中新田地区で12.5%でした。どの地区も、わからないという回答が一番多くなっています。

(5) 新型コロナウイルス感染症について

問15 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い困っていること、心配なことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

選択肢	回答数	割合
1. 自分や家族の健康に関すること	354	28.8%
2. 親に関すること	64	5.2%
3. 子どもに関すること	78	6.3%
4. 仕事・家計等、経済的なこと	169	13.8%
5. 地域のつながり(孤独・孤立)	106	8.6%
6. 入院・治療等の医療サービスが受けられるか	229	18.6%
7. 介護等の福祉サービスが受けられるかどうか	142	11.6%
8. 特にない	77	6.3%
9. その他	10	0.8%
計	1,229	100.0%

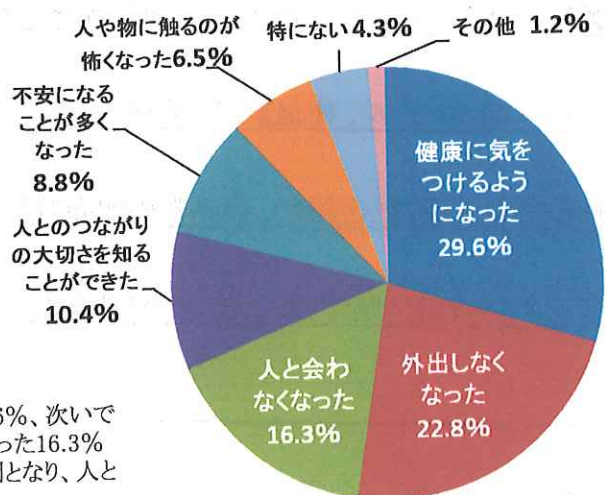
*最も多い回答は、自分や家族の健康で28.8%、次いで多かったのが入院治療等のサービスが受けられるかで18.6%でした。感染症に対する直接的な健康問題に関する心配が約5割という結果となりました。



問16 新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、あなたの意識に変化はありましたか。
(あてはまるものすべてに○)

選択肢	回答数	割合
1. 外出しなくなった	279	22.8%
2. 人と会わなくなった	199	16.3%
3. 人や物に触るのが怖くなった	80	6.5%
4. 不安になることが多くなった	108	8.8%
5. 健康に気をつけるようになった	362	29.6%
6. 人とのつながりの大切さを知ることができた	127	10.4%
7. 特にない	52	4.3%
8. その他	15	1.2%
計	1,222	100.0%

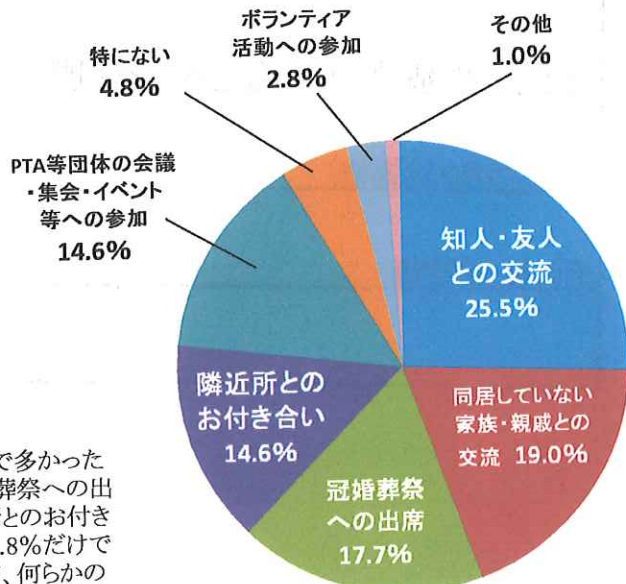
*最も多い回答は、健康に気をつけるようになったで29.6%、次いで多かったのが外出しなくなったの22.8%、人と会わなくなった16.3%でした。2番目と3番目に多かった回答を合わせると約4割となり、人との接触や人流が同じ程度減っていると推測されます。



問17 新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、あなたが自粛したことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

選択肢	回答数	割合
1. 隣近所とお付き合い・お茶のみ等	190	14.6%
2. 知人・友人との交流	331	25.5%
3. 同居していない家族・親せきとの交流	247	19.0%
4. PTAや子供会、青年会、婦人会、老人クラブ、行政区等の組織、団体が開催する会議・集会・イベント等への参加	190	14.6%
5. ボランティア活動への参加	37	2.8%
6. 冠婚葬祭への出席	230	17.7%
7. 特にない	62	4.8%
8. その他	13	1.0%
計	1,300	100.0%

*最も多い回答は、知人・友人との交流で25.5%、次いで多かったのが同居していない家族・親戚との交流で19.0%、冠婚葬祭への出席17.7%でした。また、集会イベント等への参加、隣近所等のお付き合いも含めると9割以上となり、特にないと回答したのは4.8%だけでした。ほとんどの人が新型コロナウイルスの影響を受けて、何らかの自粛をしたという結果となりました。



問18. コロナ禍の中で、こういうサービスがあれば良いと思う福祉サービスはありますか。

回答数:49人(重複あり)

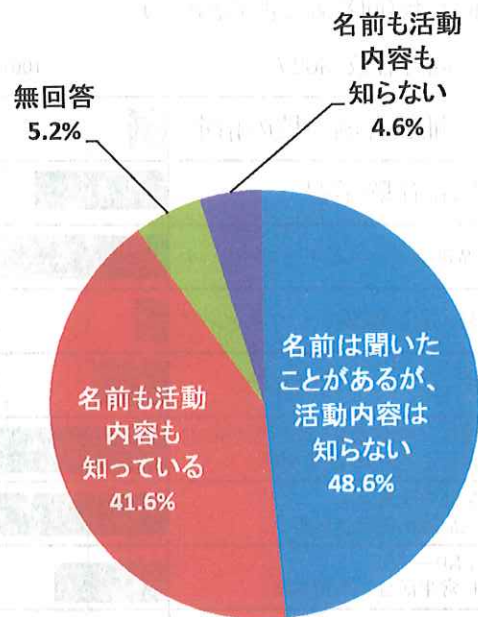
項 目	記入数
配給、買い物(食事・弁当等の配達サービス)	12
情報の発信・提供(感染状況等)	6
訪問、声がけ、安否確認等(不安の解消等)	6
PCR検査、抗原・抗体検査、ワクチン接種等	6
医療の充実(オンライン診療等)、健康チェック等	5
マスク、アルコール、体温計等の配布	5
経済的な支援(現金給付、商品券の配布等)	2
デジタル・IT等に関すること(アプリ活用等)	1
(感想・要望等)	
健康・仕事・生活等に対する不安	4
ボランティア活動及び社会参加活動に関すること	2
要望(行政・社協他)	5
その他・感想等	5
計	59

(6)加美町社会福祉協議会の活動について

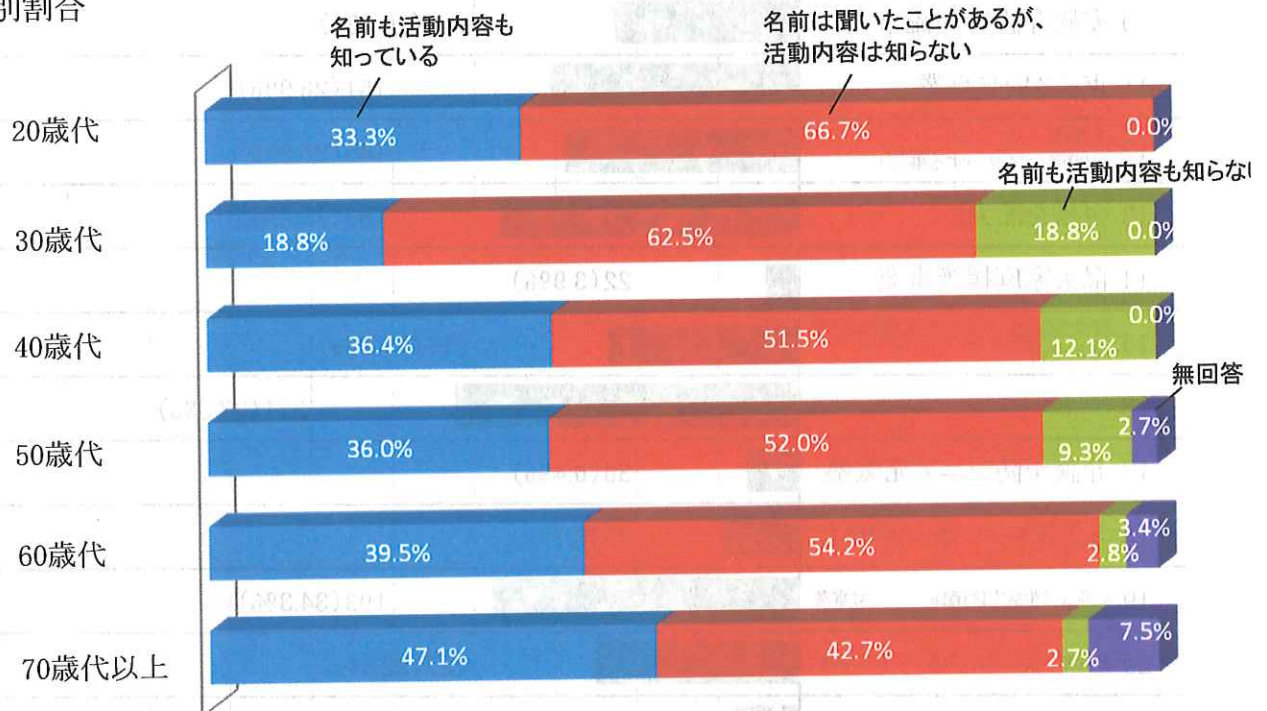
問19 あなたは社会福祉協議会を知っていますか。(ひとつだけ○)

選択肢	回答数	割合
1. 名前も活動内容も知っている	234	41.6%
2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない	273	48.6%
3. 名前も活動内容も知らない	26	4.6%
4. 無回答	29	5.2%
(計)	562	100.0%

* 名前も活動内容も知っているが41.6%になっています。名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らないも48.6%あり、活動内容の周知と理解の推進が課題となります。

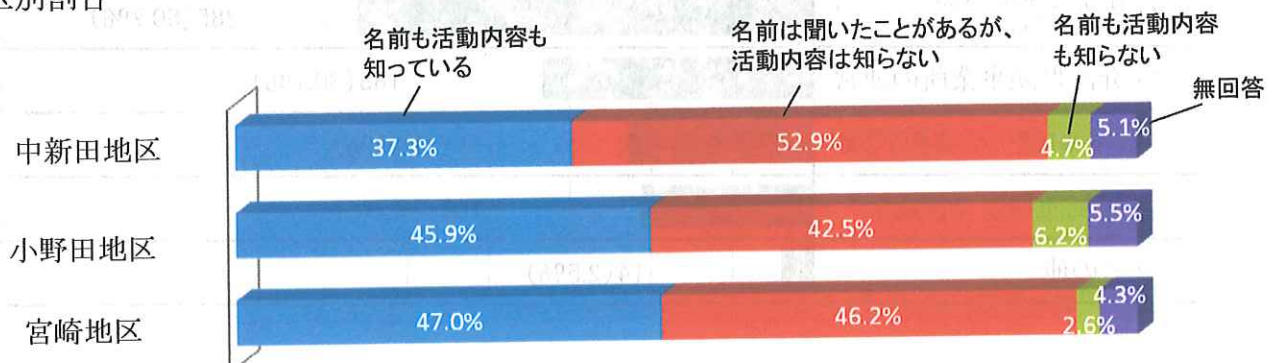


年代別割合



* 若い世代での認知度が低く、年齢が上がるとともに認知度も上がる傾向にあります。30代から50代では名前も活動内容も知らない方が約1割から2割程度となっています。

地区別割合



問20 加美町社会福祉協議会の事業のうち知っているものがあれば教えてください。

回答数(回答者に占める割合)

(あてはまるものすべてに○)

総回答者数:562人

	100	200	300	400	500
1 福祉教育協力校の指定	25(4.4%)				
2 福祉体験学習	83(14.8%)				
3 福祉作文・ポスターコンクール	233(41.5%)				
4 夏・福祉体験ワークキャンプ	22(3.9%)				
5 ボランティア体験塾	45(8.0%)				
6 困りごと相談事業(生活相談所・弁護士による無料法律相談)	206(36.7%)				
7 生活安定資金・生活福祉資金貸付事業	103(18.3%)				
8 まもりーぶ・日常生活自立支援事業	70(12.5%)				
9 一人暮らし高齢者のつどい・一人暮らし高齢者訪問事業	219(39.0%)				
10 家族介護者交流事業	114(20.3%)				
11 車イス貸与事業	151(26.9%)				
12 上寿祝(100歳をお祝いする事業)	145(25.8%)				
13 金婚を祝う会	189(33.6%)				
14 罹災家庭援護事業	22(3.9%)				
15 行政区福祉事業への支援協力・助成金交付	119(21.2%)				
16 行政区ミニデイサービスサポート事業	211(37.5%)				
17 介護予防シニア元気塾	36(6.4%)				
18 ふれあい・いきいきサロン	49(8.7%)				
19 高齢者等生活支援(配食サービス)事業	193(34.3%)				
20 高齢者等生活支援(除雪サービス)事業	127(22.6%)				
21 小地域ネットワーク活動	41(7.3%)				
22 ボランティアセンター・災害ボランティアセンター事業	47(8.4%)				
23 福祉のつどい・社会福祉大会	90(16.0%)				
24 社協だよりの発行・ホームページによる情報発信	285(50.7%)				
25 介護保険事業所の運営	169(30.1%)				
26 障害福祉サービス事業所の運営	117(20.8%)				
27 福祉団体の支援協力	108(19.2%)				
28 その他	14(2.5%)				

地区別割合(問20)	中新田 (295人)		小野田 (146人)		宮崎 (117人)	
	回答数	回答者に占める割合	回答数	回答者に占める割合	回答数	回答者に占める割合
1 福祉教育協力校の指定	11	3.7%	6	4.1%	8	6.8%
2 福祉体験学習	42	14.2%	19	13.0%	22	18.8%
3 福祉作文・ポスターコンクール	118	40.0%	62	42.5%	53	45.3%
4 夏・福祉体験ワークキャンプ	9	3.1%	6	4.1%	7	6.0%
5 ボランティア体験塾	21	7.1%	13	8.9%	11	9.4%
6 困りごと相談事業(生活相談所・弁護士による無料法律相談)	106	35.9%	57	39.0%	43	36.8%
7 生活安定資金・生活福祉資金貸付事業	57	19.3%	24	16.4%	21	17.9%
8 まもりーぶ・日常生活自立支援事業	40	13.6%	13	8.9%	17	14.5%
9 一人暮らし高齢者のつどい・一人暮らし高齢者訪問事業	117	39.7%	53	36.3%	48	41.0%
10 家族介護者交流事業	55	18.6%	37	25.3%	22	18.8%
11 車イス貸与事業	73	24.7%	40	27.4%	38	32.5%
12 上寿祝(100歳をお祝いする事業)	73	24.7%	38	26.0%	33	28.2%
13 金婚を祝う会	97	32.9%	54	37.0%	37	31.6%
14 罹災家庭援護事業	12	4.1%	6	4.1%	4	3.4%
15 行政区福祉事業への支援協力・助成金交付	49	16.6%	33	22.6%	36	30.8%
16 行政区ミニデイサービスサポート事業	99	33.6%	46	31.5%	65	55.6%
17 介護予防シニア元気塾	16	5.4%	9	6.2%	11	9.4%
18 ふれあい・いきいきサロン	26	8.8%	12	8.2%	11	9.4%
19 高齢者等生活支援(配食サービス)事業	96	32.5%	50	34.2%	46	39.3%
20 高齢者等生活支援(除雪サービス)事業	66	22.4%	32	21.9%	29	24.8%
21 小地域ネットワーク活動	24	8.1%	7	4.8%	10	8.5%
22 ボランティアセンター・災害ボランティアセンター事業	27	9.2%	7	4.8%	13	11.1%
23 福祉のつどい・社会福祉大会	38	12.9%	31	21.2%	21	17.9%
24 社協だよりの発行・ホームページによる情報発信	147	49.8%	74	50.7%	64	54.7%
25 介護保険事業所の運営	82	27.8%	42	28.8%	45	38.5%
26 障害福祉サービス事業所の運営	63	21.4%	25	17.1%	29	24.8%
27 福祉団体の支援協力	51	17.3%	28	19.2%	28	23.9%
28 その他	6	2.0%	5	3.4%	3	2.6%

問21 問20で行っている社会福祉協議会の活動の中で、あなたが重要だと思う事業はどれですか。

回答数(回答者に占める割合)

(3つまで番号を書き入れる)

総回答者数:562人

	40	80	120	160	200
1 福祉教育協力校の指定	10(1.8%)				
2 福祉体験学習	29(5.2%)				
3 福祉作文・ポスターコンクール	7(1.2%)				
4 夏・福祉体験ワークキャンプ	4(0.7%)				
5 ボランティア体験塾	10(1.8%)				
6 困りごと相談事業(生活相談所・弁護士による無料法律相談)	147(26.2%)				
7 生活安定資金・生活福祉資金貸付事業	57(10.1%)				
8 まもりーぶ・日常生活自立支援事業	38(6.8%)				
9 一人暮らし高齢者のつどい・一人暮らし高齢者訪問事業	165(29.4%)				
10 家族介護者交流事業	51(9.1%)				
11 車イス貸与事業	19(3.4%)				
12 上寿祝(100歳をお祝いする事業)	4(0.7%)				
13 金婚を祝う会	5(0.9%)				
14 罹災家庭援護事業	2(0.4%)				
15 行政区福祉事業への支援協力・助成金交付	66(11.7%)				
16 行政区ミニデイサービスサポート事業	49(8.7%)				
17 介護予防シニア元気塾	11(2.0%)				
18 ふれあい・いきいきサロン	8(1.4%)				
19 高齢者等生活支援(配食サービス)事業	100(17.8%)				
20 高齢者等生活支援(除雪サービス)事業	85(15.1%)				
21 小地域ネットワーク活動	38(6.8%)				
22 ボランティアセンター・災害ボランティアセンター事業	19(3.4%)				
23 福祉のつどい・社会福祉大会	3(0.5%)				
24 社協だよりの発行・ホームページによる情報発信	26(4.6%)				
25 介護保険事業所の運営	124(22.1%)				
26 障害福祉サービス事業所の運営	58(10.3%)				
27 福祉団体の支援協力	42(7.5%)				
28 その他	4(0.7%)				

地区別割合(問21)	中新田 (295人)		小野田 (146人)		宮崎 (117人)	
	回答数	回答者に占める割合	回答数	回答者に占める割合	回答数	回答者に占める割合
1 福祉教育協力校の指定	1	0.3%	5	3.4%	4	3.4%
2 福祉体験学習	19	6.4%	6	4.1%	4	3.4%
3 福祉作文・ポスターコンクール	4	1.4%	1	0.7%	2	1.7%
4 夏・福祉体験ワークキャンプ	2	0.7%	0	0.0%	2	1.7%
5 ボランティア体験塾	4	1.4%	3	2.1%	3	2.6%
6 困りごと相談事業(生活相談所・弁護士による無料法律相談)	75	25.4%	37	25.3%	35	29.9%
7 生活安定資金・生活福祉資金貸付事業	36	12.2%	8	5.5%	13	11.1%
8 まもりーぶ・日常生活自立支援事業	21	7.1%	4	2.7%	13	11.1%
9 一人暮らし高齢者のつどい・一人暮らし高齢者訪問事業	95	32.2%	35	24.0%	35	29.9%
10 家族介護者交流事業	27	9.2%	14	9.6%	9	7.7%
11 車イス貸与事業	7	2.4%	10	6.8%	2	1.7%
12 上寿祝(100歳をお祝いする事業)	2	0.7%	2	1.4%	0	0.0%
13 金婚を祝う会	1	0.3%	3	2.1%	1	0.9%
14 罹災家庭援護事業	2	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
15 行政区福祉事業への支援協力・助成金交付	28	9.5%	17	11.6%	20	17.1%
16 行政区ミニデイサービスサポート事業	23	7.8%	11	7.5%	15	12.8%
17 介護予防シニア元気塾	6	2.0%	3	2.1%	2	1.7%
18 ふれあい・いきいきサロン	5	1.7%	2	1.4%	1	0.9%
19 高齢者等生活支援(配食サービス)事業	57	19.3%	22	15.1%	21	17.9%
20 高齢者等生活支援(除雪サービス)事業	47	15.9%	25	17.1%	12	10.3%
21 小地域ネットワーク活動	17	5.8%	10	6.8%	11	9.4%
22 ボランティアセンター・災害ボランティアセンター事業	10	3.4%	4	2.7%	5	4.3%
23 福祉のつどい・社会福祉大会	2	0.7%	0	0.0%	1	0.9%
24 社協だよりの発行・ホームページによる情報発信	15	5.1%	5	3.4%	6	5.1%
25 介護保険事業所の運営	62	21.0%	25	17.1%	37	31.6%
26 障害福祉サービス事業所の運営	32	10.8%	13	8.9%	13	11.1%
27 福祉団体の支援協力	20	6.8%	12	8.2%	10	8.5%
28 その他	1	0.3%	2	1.4%	1	0.9%

問22 社会福祉協議会が行う活動・支援として、今後、充実してほしいものはどれですか。

回答数(回答者に占める割合)

(3つまで○)

総回答者数:562人

	100	200	300	400	500
1 ボランティア活動の推進	92(16.4%)				
2 高齢者福祉事業	311(55.3%)				
3 子育て支援事業	133(23.7%)				
4 介護保険事業	219(39.0%)				
5 障害福祉サービス事業	105(18.7%)				
6 総合相談事業	74(13.2%)				
7 子どもへの福祉体験学習の推進	38(6.8%)				
8 福祉サービスに関する情報発信の充実	69(12.3%)				
9 生活困窮者自立支援事業	146(26.0%)				
10 日常生活自立支援事業 (権利擁護事業)	55(9.8%)				
11 特にない	27(4.8%)				
12 その他	4(0.7%)				

地区別割合(問22)

回答数(回答者に占める割合)	中新田 (295人)		小野田 (146人)		宮崎 (117人)	
	回答数	回答者に占める割合	回答数	回答者に占める割合	回答数	回答者に占める割合
1 ボランティア活動の推進	50	16.9%	21	14.4%	20	17.1%
2 高齢者福祉事業	166	56.3%	76	52.1%	66	56.4%
3 子育て支援事業	79	26.8%	33	22.6%	20	17.1%
4 介護保険事業	116	39.3%	57	39.0%	45	38.5%
5 障害福祉サービス事業	45	15.3%	32	21.9%	27	23.1%
6 総合相談事業	41	13.9%	17	11.6%	16	13.7%
7 子どもへの福祉体験学習の推進	19	6.4%	8	5.5%	11	9.4%
8 福祉サービスに関する情報発信の充実	38	12.9%	19	13.0%	11	9.4%
9 生活困窮者自立支援事業	80	27.1%	35	24.0%	30	25.6%
10 日常生活自立支援事業 (権利擁護事業)	29	9.8%	11	7.5%	13	11.1%
11 特にない	17	5.8%	5	3.4%	5	4.3%
12 その他	2	0.7%	2	1.4%	0	0.0%

(7) その他

◎誰もが安心して住みやすいまちづくりを進めていくためのご意見やご要望がございましたら
ご自由にお書きください。

回答数:79人(重複あり)

項 目	記入数
自分や家族の健康等について	1
老後の生活や介護について	13
生活費など経済的な問題・貧困問題等について	4
育児・子育て等について	5
隣近所、地域、人とのつながり等について	9
安否確認、見守り、防犯等について	6
悩みごと・相談等について	2
買い物・通院・外出等について	7
ゴミ出しについて	2
除雪・雪はきについて	5
空き家・空き店舗の活用、商店街・町の活性化等	7
情報の発信・提供	5
福祉教育、いじめ問題	2
ボランティア活動及び社会参加活動等	2
公園、遊具、遊び場所の整備等	3
活動場所・交流の場	2
新型コロナウイルスについて	2
世代間交流等	1
こども食堂	1
災害時の支援等	1
結婚相談	1
スマホ等の端末の配備(高齢者宅)	1
フードバンク・フードドライブ等	1
依存症へのケア等	1
苦情・クレーム	3
行政への要望	5
その他(要望・意見・激励・感想等)	25
計	117